

決して他人事
ではない！

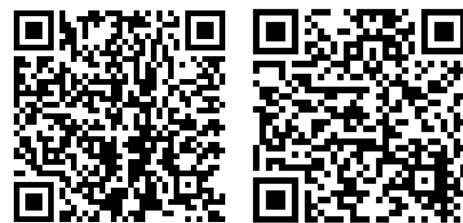
アメリカ・イスラエルによる イランへの大規模軍事攻撃

横須賀基地所属のイージス艦2隻も軍事攻撃に参加

3月15日、アメリカ国防総省が提供するメディア配信サービス「DVIDS」に米海軍横須賀基地所属のイージス駆逐艦「ミリアス」が、イラン軍事攻撃のため巡航ミサイル「トマホーク」を発射したとされる映像が公開されました。一部報道ではミリアスを含め、横須賀基地所属のイージス艦2隻が軍事攻撃に参加したとされています。

軍事攻撃に参加しているのはイージス艦だけに留まらず、「DVIDS」によると厚木基地を拠点とする海洋ヘリコプター攻撃飛行隊も軍事攻撃に参加していることが明らかになっています。

※二次元バーコードより画像と動画をご覧になれます。左側が厚木基地所属の海洋ヘリコプター、右側がミリアスとされるイージス艦です。



戦火は止まず、いまだ多くの人々が犠牲に

イランの民間人の犠牲者は既に1,400人を超えるとされています。ユニセフによると、3月5日時点で2月28日に攻撃を受けた女子小学校の子どもたち168人、さらにイラン国内5か所の他の学校も合わせると、約180人の子どもたちが命を落としたとされています。

一方イランもアメリカ・イスラエルによる軍事攻撃に対抗、中東諸国の米軍基地に報復攻撃を繰り返し、被害が民間にも及んでいます。カタールの空軍基地に弾道ミサイルが着弾、UAEでは無人機攻撃により米領事館近くで火災が発生。バーレーンの司令部やクウェートの空軍基地も狙われました。これらの基地や施設は、いずれもアメリカ・イスラエルの軍事攻撃には参加していないにもかかわらず標的となり、民間人も含め多くの死傷者が出ています。

基地は民間人を守るものではなく、むしろ標的になる存在の証左と言えます。そして前述の通り、イランへの軍事攻撃は日本の米軍基地からも参加しており、決して無関係とはいえません。

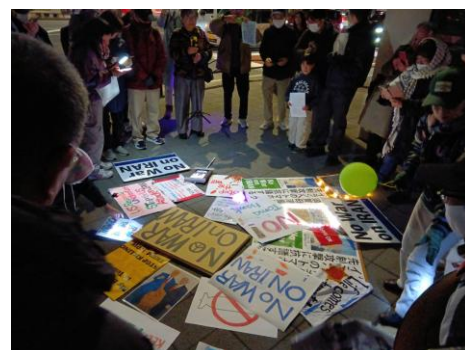


19日行動や集会への参加を通じて、平和への行動を起こそう！！

戦争のない平和な社会を実現するためには、一人ひとりが声をあげていくことが不可欠です。横須賀基地ゲート前では抗議のプラカードを掲げサイレントスタンディングが行われており、大船支部からも参加しています。

国会前では、2015年9月19日に安全保障関連法が強行成立した日にちなみ、毎月19日に集会が行われています。こうした取り組みや集会に職場の仲間と参加し、平和な社会の実現に向けて、声をあげていきましょう！！

横須賀基地ゲート前での抗議のプラカード▶



戦争のない平和な社会をめざし、一人ひとりが行動しよう！！